

海老名災害ボランティアネットワーク

第21回 定期総会



<http://www.ebina-saibora.net>

【 議案書 】

第1号議案	2021年度事業報告	2頁
付属資料	2021年度事業報告付表	3頁
第2号議案	2021年度会計報告	5頁
	会計監査報告	
第3号議案	2022年度役員選出	6頁
第4号議案	2022年度事業計画(案)	7頁
第5号議案	2022年度予算(案)	8頁
資料:	海老名災害ボラ備品一覧表	9頁

2022年5月21日(土) 午後2時～開催予定

●新型コロナ感染症拡大の中で、海老名災ボラ活動の継続に苦闘した1年間

2020年1月以降、日本国内でも新型コロナ感染症が拡大し、さまざまな社会・経済活動と市民生活が大きな影響を受けた。2021年度に入っても、コロナ感染症は収まらず、拡大と縮小の波を繰り返した。そうした中で、コロナ感染症対策と経済活動の両立を図る方向に変化した。医療体制の確保を軸に、感染防止対策と規制緩和のバランスに配慮した対応が進められた。

海老名災ボラ会員の中では、高齢者や基礎疾患を有する方も少なくないため、感染防止という観点から、集まる場合にはマスク着用の徹底、非接触式体温計による体温測定、手指の消毒、3蜜(密閉・密集・密接)の回避して実施することにした。集まらなくても情報伝達や意見交換ができるような方法(オンライン化、Zoomやlineの活用など)の充実に努めた。

1. オンラインでの情報伝達・情報共有を推進した

2020年度に続き、集まらなくとも情報交換・情報共有ができる手段(メーリングリスト、Line、Zoomなど)の利用を進めた。

① メーリングリストの活用について:メーリングリストを見る会員の増加が課題

海老名災ボラのメーリングリストには、会員総数44名中の39名が登録している(登録率89%)。個人会員では24名中23名。日常的にはメールを見ない会員もあり、メーリングリストで情報発信しても、情報が共有されないことも起こっている。それで、メーリングリストに登録していない会員やスマホで登録しているので、添付ファイルは読みづらいという声があったので、そうした会員に対して、重要な情報については郵送することも行った。

② 海老名災ボラLineグループの活用について:参加者の拡大が課題

災害時の連絡に役立つように、海老名災ボラLineグループを作成し参加者の拡大を進めてきた。20年秋の段階で、会員総数44名中の21名が海老名災ボラlineグループに参加している。今後、Lineでの情報交換の活発化が課題である。

③ Zoomの活用について:Zoomアプリのアカウント登録者の増加とZoom利用者の増加が課題

新型コロナ禍の中で2020年以降、Zoom活用を進めてきた。アカウント登録している会員は約20人(個人会員19名)である。定例会はZoom ミーティング方式で行われるようになったが、参加者は増えていない。参加者の増加が課題である。

④ 海老名災ボラのインターネット・ホームページの更新:更新できる会員の複数化と技能向上が課題

ホームページは、災ボラの活動を広く市民に知らせるためにも、会員が災ボラの活動の歴史と現状を知るためにも、重要な手段である。更新が行われることで、多くの人に災ボラ活動の内容を伝えることができる。22年1月8日に21年秋までの更新を終えた。今後、ホームページに掲載する内容(コンテンツ)を作る人がおり、それをホームページにアップする担当者を複数化することが課題である。

2. 市民の自然災害への対応能力(自助・共助)を高める活動

① 自治会・各種団体主催の自主防災訓練に協力し、自助・共助の前進を図る

2021年12月5日の上今泉連合自治会主催「上今泉防災フェス2021」に協力。

- ・上今泉地区のハザードマップ(風水害・地震)を知る ・地震災害の備え(家具転倒防止・ガラス飛散防止・災害時照明)
- ・災害に備えた水、食料の備蓄と災害食の作り方、災害時のトイレ対策 …を現物展示し、説明した。

② 海老名市民への広報活動:「海老名災害ボランティアネットワークだより」の発行。

2021年7月1日…第37号発行、2021年12月1日…第38号発行、自治会回覧。

③ 小学生向けの「福祉教室」や「サマースクール」はコロナ禍のために学校から要請がなく、実施できなかった。

3. 「海老名市災害救援ボランティアセンター」の設置・運営に関わる活動

大規模な自然災害が発生し、海老名市または周辺地域が大きな被害を被った場合に海老名市からの要請を受けて海老名市社会福祉協議会が中軸となって「海老名市災害救援センター」が設置されることになっている。次の活動を実施。

① 海老名市危機管理課・海老名市社会福祉協議会との情報交換・ボラセン運営について検討を進めた

海老名市で防災・減災に関係する3者(海老名市危機管理課、海老名市社協、海老名災ボラ)で、情報交換と相互協力を行っている。この会議で、「コロナ禍で災害ボラセンの運営」について検討を開始した。

●2021年11月9日、ボランティアセンター立上げ訓練を実際の立上げ場所となる文化会館で実施。レイアウトの確認や運営上の問題点を災害3者(市危機管理・社協・災ボラ)で共有した。

② 災害救援ボランティアセンターのスタッフ養成(コーディネーター養成講座)は、見直しのため実施できなかった

社協から従来実施されていたコーディネーター養成講座は見直したいという話があり、2021年度の実施も無かった。

③ 神奈川災ボラが主催する防災・減災に関する講演会にZoomで参加したが、海老名災ボラの参加者は少数

2021年10月～2022年1月にかけて、神奈川災ボラ主催「ICT活用普及セミナー」(全7回)がオンラインZoomで開催され、災ボラの会員数名が受講した。ICT化を促進する為の基礎知識を学んだ。

4. 被災地・被災者支援のボランティア活動へ参加は無かった

海老名災ボラは東日本大震災をはじめ、大規模な自然災害が発生した場合、被災地・被災者支援活動を神奈川災ボラとともに実施してきた。2021年7月初めからの豪雨で各地に被害が発生、特に熱海市での土石流による被害は惨々たるものであった。被災地ではボランティアの募集対象を県内や市内在住者に限定した為、具体的な被災地支援活動は行わなかった。

5. その他の活動

① 海老名市ボランティア連絡協議会の定例会などに、海老名災ボラの担当者が参加した。

●イオン海老名店で幸せの黄色いレシートキャンペーンを団体が参加して実施することはコロナ禍の中で中止。

(第1号議案)付表

2021年度 事業報告(2/2)付表

2021年4月1日～2022年3月31日

月	日	曜日	内容	会場・備考	参加者
4	2	金	ボラ連役員会	海老名市総合福祉会館 災ボラ:三宅	1
	9	金	ボラ連定例会	総合福祉会館 災ボラ:水本	1
	12	火	海老名防災3者定例会:社協、災ボラなどの状況報告など	福祉会館(社協との協議は利用可能)	3
	25	日	海老名災ボラ4月の定例会、Zoomで開催	海老名災ボラ会員10名が参加	10
	26	月	海老名災ボラ2020年度定期総会資料を発信・郵送 神奈川県は「まん延防止等重点措置」を県内9市に適用	海老名災ボラメンバーリングリスト、郵送 期間(4月28日～5月11日→延長～5月31日)	
5	3	月	神奈川災ボラ第1回運営委員会、Zoomで開催	海老名災ボラから:福田、石橋	2
	11	火	神奈川災ボラ第1回理事会、Zoomで開催	海老名災ボラから:福田、石橋	
	12	水	海老名災ボラ情報No.11を発信:4～5月の活動報告と予定	海老名災ボラメンバーリングリスト	
	15	土	2021年度定期総会を書面議決方式で開催 海老名災ボラ5月の定例会、Zoomで開催	書面議決で全ての議案は承認された 海老名災ボラ会員8名が参加	37 8
	19	水	海老名防災3者定例会:社協、災ボラなどの状況報告など	福祉会館 海老名災ボラからは星野・石橋	2
	25	火	神奈川災ボラ第2回理事会、Zoomで開催	海老名災ボラから:石橋	1
6	11	金	ボラ連定例会	総合福祉会館 災ボラ:水本	1
	12	土	海老名災ボラ情報No.12を発信:5～6月の活動報告と予定	海老名災ボラメンバーリングリスト	
	13	日	海老名災ボラ6月の定例会、Zoomで開催	海老名災ボラ会員9名が参加	9
	15	火	神奈川災ボラ2021総会、県サポセン&Zoomで開催	海老名災ボラから:福田、石橋	2
	16	水	海老名防災3者定例会:社協、災ボラなどの状況報告など	福祉会館 海老名災ボラからは星野・石橋	2
	23	水	海老名災害ボランティアネットワークだより37号、印刷作業	原稿:福田、印刷5,500枚、¥5,620	6
7	9	金	ボラ連定例会:「ふれあい交流会」説明、他	総合福祉会館 災ボラ:三宅	1
	11	日	海老名災ボラ7月の定例会、Zoomで開催 防災倉庫&ロッカー整理	海老名災ボラ会員10名が参加 イオンカード購入品搬入	10 3
	19	月	海老名防災3者定例会:社協、災ボラなどの状況報告など	福祉会館 海老名災ボラからは星野・石橋	2
	27	火	神奈川災ボラ第2回運営委員会、県サポセン&Zoomで開催	海老名災ボラから:福田、石橋	2
8	3	火	海老名災ボラ情報No.13を発信:6～7月の活動報告と予定	海老名災ボラメンバーリングリスト	
	8	日	海老名災ボラ8月の定例会、Zoomで開催	海老名災ボラ会員8名が参加	8
	19	木	海老名防災3者定例会:社協、災ボラなどの状況報告など	福祉会館 海老名災ボラからは星野・石橋	2
	24	火	神奈川災ボラ第3回理事会、県サポセン&Zoomで開催	海老名災ボラから石橋がZoomで参加	1
9	12	日	KSVネット「DITSによる災害状況伝達勉強会」	海老名災ボラから:福田、石橋	2
	12	日	海老名災ボラ9月の定例会、Zoomで開催	海老名災ボラ会員7名が参加	7
	28	火	海老名防災3者定例会:社協、災ボラなどの状況報告など 神奈川災ボラ第3回運営委員会、県サポセン&Zoomで開催	福祉会館 海老名災ボラからは星野・石橋 海老名災ボラから:福田、石橋	2 2
10	2	土	海老名災ボラ情報No.14を発信:8～9月の活動報告と予定	海老名災ボラメンバーリングリスト	
	4	月	神奈川災ボラ主催「ICT活用普及セミナー」:Zoomで参加	海老名災ボラから:福田、星野、石橋	3
	8	金	ボラ連定例会	総合福祉会館 災ボラ:三宅、水本	2
	10	日	海老名災ボラ10月の定例会、Zoomで開催	海老名災ボラ会員9名が参加	9
	18	月	海老名災ボラ広報班会議(ホームページ検討会) 神奈川災ボラ主催「ICT活用普及セミナー」:Zoomで参加	Zoomで開催:福田、鷲見、館、野中、石橋 海老名災ボラから:福田、星野、石橋	5 3
	19	火	KSVN・県社協・県共募主催「県央地域学習会」:Zoom	海老名災ボラから:福田、三宅、石橋	3
	26	火	神奈川災ボラ第4回運営委員会、県サポセン&Zoomで開催	海老名災ボラから:福田、嶋原、石橋	3
	28	木	海老名防災3者定例会:社協、災ボラなどの状況報告など	福祉会館 海老名災ボラからは星野・石橋	2
	29	金	海老名災ボラ情報No.15を発信:9～10月の活動報告と予定	海老名災ボラメンバーリングリスト	

11	1	月	神奈川災ボラ主催「ICT活用普及セミナー」:Zoomで参加	海老名災ボラから:福田、星野、石橋	3
	9	火	ボランティアセンター立上げ訓練(文化会館)	防災3者+会館職員 福田、星野、石橋	3
	12	金	ボラ連定例会	総合福祉会館 災ボラ:三宅	1
			海老名災ボラ1月の定例会、福祉会館で開催	海老名災ボラ会員8名が参加	8
	17	水	神奈川災ボラ主催「ICT活用普及セミナー」:Zoomで参加	海老名災ボラから:福田、石橋	2
	18	木	海老名災害ボランティアネットワークだより38号、印刷作業	原稿:福田、印刷5,500枚、¥5,620	8
	23	火	神奈川災ボラ第5回運営委員会、県サポセン&Zoomで開催	海老名災ボラから:福田、鴨原、石橋	3
	25	木	海老名災ボラ情報No.16を発信:10~11月の活動報告と予定	海老名災ボラメンバーリスト	
海老名防災3者定例会:社協、災ボラなどの状況報告など			福祉会館 海老名災ボラからは石橋	1	
12	3	金	ボラ連役員会	総合福祉会館 災ボラ:三宅	1
	5	日	上今泉連合自治会「上今泉防災フェス2021」に協力	上今泉コミュニティセンター	10
	6	月	神奈川災ボラ主催「ICT活用普及セミナー」:Zoomで参加	海老名災ボラから:福田、石橋	2
	10	金	ボラ連定例会	総合福祉会館 災ボラ:三宅、水本	2
	12	日	海老名災ボラ12月の定例会、Zoomで開催	海老名災ボラ会員7名が参加	7
	13	月	神奈川災ボラ主催「ICT活用普及セミナー」:Zoomで参加	海老名災ボラから:福田、星野、石橋	3
	21	火	神奈川災ボラ第4回理事会、県サポセン&Zoomで開催	海老名災ボラから石橋がZoomで参加	1
	22	水	海老名防災3者定例会:社協、災ボラなどの状況報告など	福祉会館 海老名災ボラからは三宅、石橋	2
31	金	海老名災ボラ情報No.17を発信:11~12月の活動報告と予定	海老名災ボラメンバーリスト		
1	7	金	ボラ連役員会	総合福祉会館 災ボラ:三宅	1
	9	日	海老名災ボラ1月の定例会、Zoomで開催	海老名災ボラ会員7名が参加、	7
	12	水	神奈川県主催「災害時の連携を考えるかながわフォーラム」	海老名災ボラ:福田、石橋がZoomで参加	2
	17	月	神奈川災ボラ主催「ICT活用普及セミナー」:Zoomで参加	海老名災ボラから:星野、石橋	2
	23	日	海老名災ボラ広報班会議(ホームページ検討会)	Zoom:福田、松井、三宅、館、野中、森、石橋	7
	25	火	広域連携かながわ図上訓練-1日目:Zoomで参加 神奈川災ボラ第6回運営委員会、県サポセン&Zoomで開催	海老名災ボラ:福田、石橋がZoomで参加 海老名災ボラから:福田、石橋	2 2
2	1	火	海老名災ボラ情報No.18を発信:12~1月の活動報告と予定	海老名災ボラメンバーリスト	
	4	金	ボラ連役員会	総合福祉会館 災ボラ:三宅	1
	6	日	海老名災ボラ2月の定例会、Zoomで開催	海老名災ボラ会員9名が参加、	9
	22	火	神奈川災ボラ第7回運営委員会、県サポセン&Zoomで開催	海老名災ボラから:福田、石橋	2
	23	水	広域連携かながわ図上訓練-2日目:Zoomで参加	海老名災ボラ:石橋がZoomで参加	1
3	4	金	ボラ連役員会	総合福祉会館 災ボラ:三宅	1
	6	日	海老名災ボラ3月の定例会、Zoomで開催	海老名災ボラ会員11名が参加、	11
	11	金	ボラ連定例会	総合福祉会館 災ボラ:三宅、水本	2
	22	火	神奈川災ボラ第8回運営委員会、県サポセン&Zoomで開催	海老名災ボラから:福田、鴨原、石橋	3
	25	金	海老名防災3者定例会:社協、災ボラなどの状況報告など	福祉会館 海老名災ボラからは星野、石橋	2

(第2号議案)

2021年度 海老名災害ボランティアネットワーク収支決算報告

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

【一般会計】

(収入の部)

(単位：円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	増減額 (B-A;△減)	備考
1 会費収入	82,000	81,000	△ 1,000	
(個人会員)	58,000	50,000	△ 8,000	2,000×25口 (24名)
(賛助会員)	15,000	22,000	7,000	1,000×22口 (17名)
(団体会員)	9,000	9,000	0	3,000×3 (3団体)
2 事業収入	10,000	0	△ 10,000	
3 寄付収入	15,000	14,900	△ 100	イオン「ギフトキャンペーン」
4 助成金	52,500	70,000	17,500	海老名市社会福祉協議会より
5 雑収入	2	7,342	7,340	海老名市防災会議報酬、銀行受取利子
6 前年度繰越金	350,491	350,491	0	
合計	509,993	523,733	13,740	

(支出の部)

科目	予算額(A)		決算額(B)		増減額 (B-A;△減)	備考
	事業費	事務費	事業費	事務費		
1 事業費	60,000		16,456		△ 43,544	各種講座材料費
2 通信費		5,000		5,588	588	サーバー代、ドメイン料
3 事務費		50,000		11,592	△ 38,408	郵送費、印刷費、その他事務用品
4 会議費		7,000		5,100	△ 1,900	Zoomミーティングホスト補助費
5 会費		20,000		15,000	△ 5,000	県災ボラ、海老名ボラ連協議会会費
6 広報費	25,000		11,240		△ 13,760	ネットワークだより印刷代
7 交通費		20,000		5,110	△ 14,890	各事業等参加
8 予備費		322,993		270,000	△ 52,993	特別会計へ繰出し (5月15日付)
小計	85,000	424,993	27,696	312,390	△ 169,907	
合計		509,993		340,086	△ 169,907	

収入額 523,733 円 - 支出額 340,086 円 = 183,647 円 <2022年度繰越金>

【特別会計】

(収入の部)

科目	決算額	備考
1. 前年度繰越金	23,540	
2. その他	270,000	一般会計より繰入れ (5月15日付)
合計	293,540	

(支出の部)

科目	決算額	備考
活動補助費	0	
合計	0	

収入額 293,540 円 - 支出額 0 円 = 293,540 円 <次年度繰越金>

会計 松井 俊輔

会計 小澤 昌平

--- 会計監査報告 ---

代表 石橋 友晴 殿

2021年度(2021年4月1日～2022年3月31日)の

海老名災害ボランティアネットワーク会計について、監査結果を下記の通り報告します。

2022年5月3日 関係帳簿、領収書等の監査の結果相違ないことを認めます。

会計監査

永山 八郎



会計監査

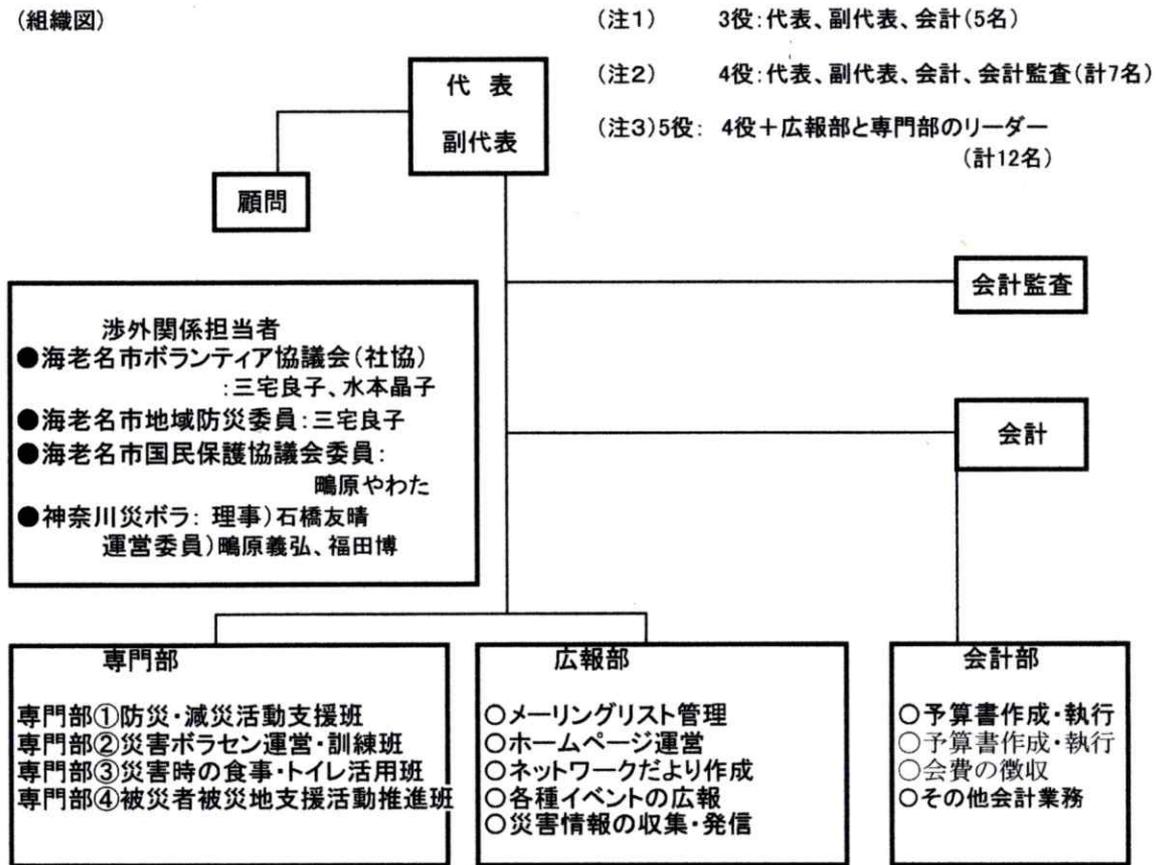
嶋原 やわた



第3号議案 2022年度役員(案)

代表	石橋友晴
副代表	星野隆一郎 三宅良子
会計	松井俊輔 小澤昌平
事務局	広報部: 舘登志子・鷺見一雄・福田博・石橋友晴
	専門部①: 山下康秀・小澤昌平
	専門部②: 佐々木茂・吉野達志・黒田美保
	専門部③: 水本晶子・嶋原やわた・山本由美子
	専門部④: 石橋友晴・嶋原義弘・田村和寿
会計監査	永山八郎
	嶋原やわた

(組織図)



※定例会:海老名災ボラの運営に関わる会議、毎月開催

※役員会:代表・副代表の会議、+会計の会議など、必要に応じて開催

※広報部・専門部について:メンバーは定例会等で変更可能で、会議は必要に応じて開催する。

専門部①防災・減災活動支援班:体験型講座、防災マップ作成講習などを実施する。

専門部②ボランティアセンター及び避難所運営訓練班:ボランティアセンター及び避難所運営訓練を促進する。

専門部③災害時の食事・トイレ活用班:災害時に備えて水・食料の備蓄・災害食づくり・トイレの活用を推進する。

専門部④被災地支援推進班:被災地支援活動を活発化するため、会員内外へのPRと参加促進を図る。

2022年度 事業計画(案)
(2022年4月1日～2023年3月31日)

1. 新型コロナウイルス感染症の流行が続いている中での災害ボランティア活動について

- ①国や県・市などから「外出自粛」が求められている状況(緊急事態宣言発令中)では、「人と人の接触」が多くなる活動(会議・講習会・被災者支援など)は自粛する。
- ②国や県・市などから「外出自粛」が緩和されている状況では、「3蜜」(密閉・密集・密接)を回避するなど、必要な感染防止対策を講じて、災ボラ活動(会議・講習会・被災者支援など)を進める。
- ③「人が直接的に接触しない形で出来る活動」(オンラインZoom、メーリングリスト、個別メール、FAX、電話など)を活用し、会員相互及び市民との情報共有・交換を積極的に推進し、災ボラ活動の持続的な展開を図る。

2. 市民の自然災害への対応能力(自助・共助)を高める活動を推進する

- ①「体験型減災・対応訓練」を開催し、市民の自助能力の向上を進める。
- ②「災害図上訓練(DIG)」(地震及び風水害)の体験学習会を開催する。
- ③自治会・各種団体主催の自主防災訓練に協力し、自助・共助の前進を図る。
- ④小学生の自然災害への関心と対応力の向上を進める。「福祉教室」、「サマースクール」への協力
- ⑤海老名市民への広報活動の充実を図る。「海老名災ボラネットワークだより」(7月1日、12月1日、回覧)海老名災ボラのホームページを充実する。(より多くの市民に読まれる内容に努める)。

3. 被災地被災者支援のボランティア活動に参加・協力する

- ①大規模な自然災害が全国各地で起きた場合、神奈川災害ボランティアネットワークなどと協力し、被災地・被災者支援活動に参加する。
- ②被災地・被災者支援に関わる募金活動や救援物資の送付活動などに参加・協力する。

4. 海老名市災害救援ボランティアセンターの設置運営に参加・協力する

- ①「災害救援ボランティアセンター」の設置運営訓練に参加・協力する(海老名市社協に協力)。
- ②「コーディネーター養成講座」に参加・協力する(海老名市社協に協力)。
- ③神奈川県や海老名市が主催する防災訓練に参加・協力する(「ビックレスキューかながわ」など)。

5. 行政・社協や他団体と連携・協力して防災・減災活動を推進する

- ①海老名市や海老名市社協と連携・協力して防災・減災活動を進める。
- ②「海老名市ボランティア連絡協議会」の活動に参加・協力する。
- ③自治会(自主防災組織)や各種団体と連携・協力して防災・減災活動を進める。
- ④海老名市外の団体(神奈川県内や県央地域)と連携・協力して防災・減災活動を進める。

6. 海老名災ボラの会員相互の情報共有、スキルアップ、会員の拡大を進める

- ①災ボラ会員間の情報共有を進める。(定例会、メーリングリスト、ホームページなどの活用)
- ②様々な機会を利用して、災ボラ会員のスキルアップを図る。(防災講演会・体験型訓練へ参加)
- ③市民向けの体験型講座や各種事業に、災ボラ会員も参加し、市民と一緒にスキルアップを図る。
- ④被災地被災者支援活動に参加し、そこでの活動経験から学ぶ。
- ⑤「災害弱者」(高齢者・障害者・外国人、幼児など)との交流を促進する。
- ⑥海老名災ボラの会員の拡大を図る。

(第5号議案)

2022年度 海老名災害ボランティアネットワーク予算案
(2022年4月1日～2023年3月31日)

【一般会計】

(収入の部)

(単位：円)

科目	2022年度予算(A)	前年度予算(B)	増減額 (A-B△減)	備考
1 会費収入	76,000	82,000	△ 6,000	
(個人会員)	50,000	58,000	△ 8,000	2,000×25口 (24+2人)注)
(賛助会員)	17,000	15,000	2,000	1,000×17口 (17±0人)
(団体会員)	9,000	9,000	0	3,000×3口 (3±0団体)
2 事業収入	10,000	10,000	0	福祉教室他
3 寄付収入	15,000	15,000	0	イオン「ギフトキャンペーン」
4 助成金	70,000	52,500	17,500	
(海老名市社協より)	70,000	52,500	17,500	
5 雑収入	2	2	0	受取利子
6 前年度繰越金	183,647	350,491	△ 166,844	
合計	354,649	509,993	△ 155,344	

注) 昨年度、今年度分を含めて納入した会員分を反映

(支出の部)

科目	2022年度予算(A)		前年度予算(B)		増減額 (A-B△減)	備考
	事業費	事務費	事業費	事務費		
1 事業費	50,000		60,000		△ 10,000	各種講座材料費、マニュアル整備
2 通信費		5,000		5,000	0	サーバー代、ドメイン料
3 事務費		50,000		50,000	0	コピー代、他事務用品
4 会議費		7,000		7,000	0	会場費、Zoom ミーティングホスト補助費
5 会費		20,000		20,000	0	県災ボラ、海老名社協、他
6 広報費	20,000		25,000		△ 5,000	ホームページ、ネットワークだより印刷代
7 交通費		15,000		20,000	△ 5,000	市外研修会、各事業等参加
8 予備費		187,649		322,993	△ 135,344	
小計	70,000	284,649	85,000	424,993	△ 155,344	
合計		354,649		509,993	△ 155,344	

【特別会計】

災害救援活動費繰越金	293,540円
------------	----------

資料 海老名災害ボランティアネットワーク備品一覧表
2022年3月末現在

No		数量	単位	保管場所	
1	特定小電力トランシーバー	7	台	文化会館備蓄倉庫	EDVN購入
2	ポリバケツ	4	台	"	EDVN購入
3	ブルーシート	5	個	"	"
4	寝袋	80	枚	"	海老名市より
5	白ビニールゼッケン	20	個	"	海老名市より
6	白ビニール腕章	18	着	"	海老名市より
7	メッシュオレンジゼッケン	75	枚	"	海老名市より
8	メッシュオレンジゼッケン	10	着	"	EDVN購入
9	のぼり旗	5	着	"	EDVN購入
10	プラスチックボックス	2	本	"	震災事業より
11	延長コードリール	1	個	"	"
12	延長コード	3	個	"	"
13	アスパックシート	62	個	"	海老名市より
14	折りたたみリヤカー	1	基	"	H20年度海老名市より
15	三方幕(2間×3間)	2	枚	"	H20年度海老名市より
16	ハンドマイク(軽量&防水)	2	基	"	H20年度海老名市より
17	災害時車用マグネットシート	9	式	"	H20年度海老名市より
18	テント(3m×6m)	2	基	"	H21・22年度海老名市より
19	同上四方幕	2	枚	"	H21・22年度海老名市より
20	特定小電力トランシーバー	4	式	"	寄贈(H23)
21	ヘルメット	17	式	"	H23年度海老名市より
22	プラスチックボックス(ハルックコンテナBL-2)	16	個	"	EDVN購入(H22・23・25)
23	発電機	1	台	"	H24年度海老名市より
24	パルーン投光器付発電機	1	台	"	H25年度海老名市より
25	穴開けパンチ	4	台	"	EDVN購入
26	カセットボンベ式卓上コンロ	2	台	"	EDVN購入
27	大鍋	1	個	"	EDVN購入
28	アルミケトル(やかん)	1	個	"	EDVN購入
29	クーラーバック(ソフトタイプ)	2	個	"	EDVN購入
30	電動ポット5リットル	2	個	"	EDVN購入
31	懐中電灯(ランタン型)	1	本	"	EDVN購入
32	非接触型体温計	1	本	"	EDVN購入
33					
34					
35					
36					